

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス虹のわ			
○保護者評価実施期間	2024年4月1日 ～ 2025年2月7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2024年4月1日 ～ 2025年2月7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内だけでなく園外活動も取り入れ、自立に向けて様々な体験ができるようにしている	主に学校休業日に外出支援や買い物学習等を行いながら、適切な交通マナーや外出時の対応を知ったりと、自立に向けて必要なスキルの獲得をできる機会を提供している	職員からの課題提供が中心であるが、お子さまの成長の伴い、自発的な提案ができる機会も設けながら支援を行っていききたいと思います
2	個々に合わせた支援プログラムの提供を行っている	お子さまの年齢や発達段階等に合わせた課題提供を行っている。選択活動を取り入れることで、意見を伝えたり、楽しみながらお子さまとのコミュニケーションが図れるよう支援を行っています	定期的にご家庭での様子や興味関心等も共有していくことで、より充実した支援につなげていきます
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信が少ないこと	Instagram等の活動をしていないので、情報発信を行う機会が少ない現状ではあります。	ホームページを活用しながら、様々な情報発信ができるように努めていきたいと思っています。
2	環境、設備面等	園庭等の外遊びをできる環境がないため、戸外での体験活動に限りがあります。	機会に限りはあるが、戸外での体験活動がより充実するように普段の活動の中で計画時間を設けたり、準備等を細やかに行っていきます
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
		R7年 2月 27日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		日によって環境調整しています。利用者の様子などによって環境調整を行なっている。	今後も日によって環境設定をおこなっていくようにする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		利用定員によって配置している。	曜日によって職員数が変わるので、どの曜日にも変わらない人数配置できるようにしていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		必要に応じてホワイトボード等を活用しながら視覚的な支援も行なっている。その日の利用者に合わせた環境を作り支援している。	構造化「わかりやすく」を意識している。必要に応じて個別に対応をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		その都度、消毒、清掃をおこなっている。その都度、消毒をしたり換気を行なっている	活動内容を設定することにより環境設定を高めるように努めている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		利用児とやりとりしながら対応している。	ワンフロアでないため、室の使い方、独立性を工夫して支援している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		意見や意向は職員間で共有し支援につなげている。	アンケート等をいただいたご意見、送迎時等お聞かせいただいたお話など業務改善につなげていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		会議やミーティングを活用している。会議やミーティングで意見を出し合い改善策を話す場を設けている	会議や朝のミーティングなどで意見を出し合い改善につなげている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部研修、法人内研修を行なっている。	担当者を置き、支援、制度、運営、様々な研修を実施している。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントをもとに作成している。	アセスメント、分析のあり方について、様々な捉え方があると思うが、話し合いを通じて研鑽に努める。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		自発管を中心にチームで行なっている。	会議等で意見交換を行い状況、今後に向けて確認を行うっている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		全職員で共有し、支援につなげている。	片寄が生じないか検証し多くの経験ができる活動内容を考えている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		共通のアセスメントツールを活用している。	行動の状況を把握するため職員間で意見交換し客観的に状況把握を行うようにしている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに沿って作成している。	必要な項目設定については一人一人異なる。アセスメント分析のあり方について様々な捉え方があると思うが研修等を通じて研鑽に努める。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		担当を中心チームで行なっている。	当事者、家族の声を反映し、また第三者的にどうか等検討し実施する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節に合わせた内容を取り入れている。	課題改善だけではなく、自信を持てるかという部分に焦点を当てストレングス部分の強化につなげていく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		発達段階や特性に応じて行なっている。	一人ひとりの目指すべき目標、課題について意見交換し、計画を作成するよう心がけるようになっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼時に共有している。	朝礼時に、前日の報告、連絡事項、利用者の出欠、送迎について確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		引き継ぎノートを活用し共有している。	緊急対応、翌日のことなど確認をする必要があることは適宜確認するようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		共有システムを使い記録を行なっている。	主観的記録と客観的記録を用い、支援の検証、改善方法について考えていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリングを実施している。	更新（見直し）等のあり方について、今後も引き続き検証していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		4つの基本活動に沿って作成、支援している	4つの基本活動を意識した支援を今後も検討していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		選択活動も取り入れ、伝える機会を設けている。	選択肢の提示の仕方を工夫するなど子供が自己決定できるような環境設定を行う。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		必要に応じて情報共有を行なっている。	必要に応じてご家族と相談し、連携の方法について模索していく。また疑問点など積極的発信できるよう心がけていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	現在はまだ卒業している利用児がないため、その際は対応していく。	現在はまだ卒業している利用児がないため、その際は対応していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		自発センターとの連携はないが発達障がい者支援センターの研修等に参加している。	自発センターとの連携はないが様々な研修等に参加している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時、連絡ノートを活用し共有等を行なっている。	事業所がご家族にとって相談がしやすいところであるように、自己研鑽に努める。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		必要に応じて情報提供等を行なっている。	関係者との連携のあり方について検討し、積極的な情報共有、確認等とれるようにしていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に行っている。	契約時だけではなく、いつでも質問に答えられるようにする。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて定期的に面談をしている。	決められた時間だけではなく些細なことでも相談できる、話ができるようご家族の方に働きかけていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会はないが交流が希望 必要な家庭には機会を設けることも	様々な交流のあり方について検討を行い、懇談等、ご家族の意見を聞きながら交流連携のあり方について検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		定期的に文章を発行している。	内容を精査しよりわかりやすく伝えていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	招待はしていないが定期的に地域の読み聞かせ講師やドラム教室の講師を招いている	地域に方を招くだけでなく、地域の行事に参加するなどして地域との関わりも検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時、アセスメント時に確認を行なっている	朝礼、会議等で共通理解し、確認を行っている。確認を怠らないようにする。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約時、アセスメント時に確認を行なっている	朝礼、会議等で共通理解し、確認を行っている。確認を怠らないようにする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット集を作成し職員間で周知、確認している	大きな事故に繋がらないように一つひとつの報告を大切に検証する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		外部に研修参加や法人内で職員研修を行なっている	虐待防止は知識だけではなく日々の関わり方が大切であること等を伝え事業所全体で意識していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス虹のわ

公表日 R7年2月27日

利用児童数 10

回収数 9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7			2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7			2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6		2	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	8	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	8			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				帰宅後の娘の表情がとても和んでいます	今後も安心できるように支援していき たいと思います
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					